

令和7年第1回笠間市教育委員会定例会議事録

1 招集日時 令和7年1月28日（火） 午後4時00分開議

2 招集場所 笠間市役所教育棟 教育委員会室

3 議事録署名人 鳥羽田 信

4 教育長及び出席委員

教育長
教育委員 3名
事務局 8名

5 傍聴人 なし

6 提出された議題（議事） 以下のとおり

7 会議の概要

（1）開会

小沼教育長 午後4時00分開会を宣す。

（2）議事録署名人の指名

小沼教育長 鳥羽田委員を指名する。

（3）教育長の報告

小沼教育長 別紙により教育長事務報告をする。

小沼教育長 教育長の事務報告が終わりました。委員の意見を求めます。

吉崎委員 1月16日に阿部俊子文部科学大臣がお見えになっていますが、どのような用件だったのでしょうか。

小沼教育長 笠間市が、スポーツ庁より4年連続で「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体の表彰を受けたということに関連して、穴戸ヒルズカントリークラブと、ムラサキパークかさま（スケートボード・BMX）、茨城アストロプラネッツ（野球）を視察されました。

吉崎委員 わかりました。

鳥羽田委員 2月15日に行われる、こども育成支援センターの講演会は、発達障害（識字障害）を公表している柳家花緑さんが講演されるということで、楽しいものになるのではないかと思います。私も申し込みましたが、時間のある方は参加していただければと思います。

小沼教育長 そのほかございますか。

各委員 (特になしの声)

小沼教育長 それでは、教育長の報告については、以上のとおりとします。

(4) 議事

小沼教育長 それでは、議事に入ります。本日の議事「報告第1号」については、人事案件となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、審議を非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 それでは、異議なしと認め、「報告第1号」の案件を非公開といたします。

【報告第1号】 非公開

小沼教育長 それでは、非公開の案件が終了しましたので、会議の非公開を解除いたします。

小沼教育長 続きまして、「報告第2号 専決処分の承認を求めることについて」各担当課より説明を求めます。

小沼教育長 「議案第1号 令和6年度笠間市一般会計補正予算（第7号）」について説明を求めます。はじめに、学務課からお願いします。

事務局 本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、教育委員会の意見聴取を求められましたが、委員会を招集する時間的余裕がないので専決処分を行ったものです。1

7ページをご覧ください。「議案第1号 令和6年度笠間市一般会計補正予算（第7号）」について、学務課所管の主な予算をご説明いたします。歳出です。9款 教育費、1項 教育総務費、2目 事務局費、18節 負担金補助及び交付金217万9千円の増額は、私立高校生徒寮物価高騰対策支援補助金で、物価高騰により、市内の私立高校が設置する生徒寮の運営が厳しくなっている状況を受け、生徒寮の運営者に対して、国補正の「物価高騰対策重点支援交付金」を活用し、必要な経費の一部を補助することで、安定して生徒寮を運営できるよう支援するものであります。補助対象である、「日本ウェルネス高校」は、女子バレー部と野球部の2つの生徒寮が設置されており、合わせて現在55名の生徒が居住し、日常生活を送っております。補助金の内訳としては、生徒寮の運営に必要な経費のうち、電気・ガス・燃料費などのエネルギー価格や食材費等に支出した、昨年度決算額の約10%を物価高騰分として積算した、217万9千円を補助金として交付するものです。なお、交付時期については、今後、速やかに事務手続きに着手し、年度内の執行を予定しております。説明は以上です。

小沼教育長 続いて、生涯学習課お願いします。

事務局 17ページをご覧ください。生涯学習課所管の主な予算をご説明いたします。歳出です。9款 教育費、6項 保健体育費、1目 保健体育総務費、18節 負担金補助及び交付金280万円の増額は、スポーツ少年団活動にかかる費用の内、物価高騰による保護者の経済的負担の軽減を支援することを目的として、登録少年団の28団に対し、1団あたり10万円を補助するものです。なお、財源につきましては、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」です。説明は以上です。

小沼教育長 只今、各担当課より説明がございましたが、「令和6年度笠間市一般会計補正予算（第7号）」については、別紙のとおり上程されています。これより質疑に入りますが、何かご質問等はございますか。

各委員 (特になしの声)

小沼教育長 それでは、採決に入りますが、原案のとおり承認することに異議ございませんでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 異議なしと認め、「報告第2号 専決処分の承認を求めることについて」は、原案のとおり承認いたします。

小沼教育長 以上で全ての議事が終了いたしました。

(5) その他

小沼教育長 続きまして、その他の事項に入ります。それでは、一人ずつ雑感を共有していただきたいと思います。まずは鳥羽田委員からお願いします。

鳥羽田委員 11月の計画訪問で、笠間小学校を視察しました。その際、通級指導教室（在籍は通常学級で、週1～8時間、自立活動の時間のみ個別学習をする学級）を見学させていただきましたが、担任の先生との1対1の個別指導でとても成果が上がっているように思いました。次年度以降、この通級指導教室が、友部地区や岩間地区にもできてほしいと思いましたが、どのような計画になっているか教えてください。

事務局 友部地区も岩間地区も、次年度は笠間小学校と同じような通級指導教室の増級にはいたっていないのが現状です。

鳥羽田委員 笠間小学校1校で、笠間市内全体が網羅できるのか、それとも友部地区、岩間地区は必要がないということなのか。たぶん必要性はあると思うのですが、その点はいかがでしょうか。

事務局 必要がある子どもが増えているのは事実です。しかし、現状教室数を増やせないでおります。また、それに見合った人材の確保も課題となっています。

鳥羽田委員 人材確保がネックになっているということですか。

事務局 専門分野であることから、見合った人材の確保も1つの課題となっております。増級に向けて、引き続き要望してまいります。

鳥羽田委員 どこをお願いしているのでしょうか。

事務局 水戸教育事務所と相談しながら、茨城県に働きかけています。

鳥羽田委員 わかりました。それから、全国的にも通級指導を受ける児童生徒が増えています。指導を受けるにあたっては、本人や保護者

がきちんと納得して学級に入というのが基本だと思います。学習障害の特別支援学級である通級指導教室があるということ自体を子どもたちや保護者が十分理解しているのかどうか、と思います。周知はされているのでしょうか。

事務局

対象となるお子さんには、学校から面談時などに説明はしていますが、通級指導教室を希望される方ばかりではないのが現状です。文書等で周知はしていますので、保護者には届いています。

鳥羽田委員

学校だよりなどを通して、毎年定期的に、また新学期ごとにお知らせするなど、周知の機会を増やしてもらえば、より広がっていくのではないかと思います。よろしくお願いします。

小沼教育長

次に吉崎委員をお願いします。

吉崎委員

生成A Iの活用方法を、生成A Iに作らせてみました。生徒による活用に関しては7項目。教師による活用に関しても7項目出てきました。教育に携わる私から見ても、妥当なところを回答してきましたので、生成A Iもここまで来たという印象です。とりわけ私が感心したのは、生徒による活用の中で「批判的思考を育てる」というところです。「生成A Iを使う際には、A Iの提供する情報が常に正確であるとは限らないため、提供された情報を批判的に検証する習慣を持つことが大切である。A Iを使うこと自体が情報リテラシーの向上に繋がる。」と言っています。また、最後には「最終的には、生成A Iはあくまで補助的なツールとして活用し、学びや発展の手助けをするものであることを意識することが重要である。」と言っています。その他の項目を見ても思いますが、至極まっとうなことを言っていますので、教師が使う場合も、いろいろな場面で活用できる状況なのではないかと思います。笠間市でも中学校くらいから使ってみたらどうか、また子どもたちにも使わせてみたらどうかと思います。教師も、授業の準備や生徒指導において使うことによって、働き方改革にもつながるのではないかと思いますので、ぜひ積極的に取り入れてみたらと思います。

小沼教育長

このことについて、校務支援と生徒利用について事務局よりお願いします。

事務局

生成A I活用について説明します。まず、生徒に対しての導入ですが、ただいま検討中です。今年度中にまず1校、授業をする

ための事業展開として、保護者からの同意を得た上で、試験的導入をする予定です。令和7年度に先行事例を参考に展開していく予定です。以上です。

小沼教育長 3月までに、1校、授業研究を行いたいと思っています。吉崎委員に授業を見ていただいて、最後、指導講評をしていただきたいと思っていますがいかがでしょうか。

吉崎委員 わかりました。専門というわけではありませんが、授業でどのように使ったらいいかお話できると思います。11月にお話した全日本教育工学研究協議会全国大会でも発表がありましたが、つくば市は活発に生成AIを利用しようとしています。お互い情報交換をしながら活用していければ、非常に良いと思います。

小沼教育長 ありがとうございます。指導室としては、授業公開するのは、今どこの学校を考えていますか。

事務局 みなみ学園義務教育学校です。

吉崎委員 みなみ学園義務教育学校はICTも導入していますし、一番いいのではないのでしょうか。

小沼教育長 教科領域については、担任と相談して決めたいと思っています。

吉崎委員 道徳なども面白いです。教材ごとに生成AIがいろいろ答えてくれます。教材もいろいろ揃ってきていますので、国語道徳は結構おもしろいです。英語も会話や単語学習で利用できていいです。いろいろな教科で利用できるようになってきていますので、ぜひ活用してください。中学校だけで、小学校はやらないのですか。

事務局 今のところ中学校だけです。

吉崎委員 小学校も、高学年くらいには試しにやってみてもいいのではないのですか。小学校から利用してみて、どのような状況になるのか。生成AIに依存してもよくないですが、うまく利用すると個別最適な学びにつながる。みなみ学園義務教育学校は、小中とつながっていますし、やってみると市内の先生方の参考になるのではないのでしょうか。以上です。

小沼教育長 それでは続いて、廣原委員お願いします。

廣原委員

2点あります。まず、私は1月から教育委員になりましたので、なるべく1月の行事には出ようと、1月19日の県下中学校交歓笠間市駅伝大会に参加しました。駅伝は、部活動とは別に時間をとって教師と一緒に練習しています。働き方改革といわれる中、そのような時間をとることが非常に厳しいと思うのに、入賞している学校が多かったので笠間市内の先生も頑張っているなと思いました。また、中学校にはフリースクールが設置されるようになったということで、出張などがある中、学校は大変助かるのではないかと思います。ただ、中学校の現場の先生に聞くと、働き方改革で時間が短くなると、若い先生をどのように育てていくかが非常に課題となっていると言っていました。働き方改革が進められてから教師になった若い先生方に、ベテランではないと気が付かないようなところを繋げるために、研修などを隙間時間などを活用して、指導研修していってもらえればと思います。次に、私は県立図書館にいたのですが、そこでは、小学生から80代の方まで、300席くらいある学習席で、学校などが休みの日も並んで勉強している方たちがいるということ。学校(義務教育)は、やはりいつになっても人が学べるように、自分の目標や興味関心を見つけたり、学習方法を身につけていけるようにしていく必要があると思いました。こんな小さい字が見えるのと思うような年配の方が、ご自身の興味のあることを一生懸命勉強していました。義務教育の果たす役割、社会教育の果たす役割を考えていけたらと思っています。以上です。

小沼教育長

教育委員会も、若手の育成には頑張っていきたいと思います。

小沼教育長

そのほかございますか。

各委員

(特になしの声)

(6) 閉会

小沼教育長

午後4時30分閉会を宣す。

8 議決事項

報告第1号 専決処分の承認を求めることについて

承認

報告第2号 専決処分の承認を求めることについて

承認